

# 社長通信

## インド視察レポート

今回は初のインド視察に行ってきました。インド 個人的にはイメージが暗く、あまり行きたくない国でした。成田から 8 時間 インドネシア タイなどと同じ時間で行くことができますが、今まで足が向きませんでした。

オールドデリーの貧困 カースト制含め 日本に居るとネガティブな報道 イメージが先行していました。成田からデリーの空港に到着すると、考えていたのとは違い 立派な空港 成田と変わらない。それより大きい感じでした。空港に止まってるタクシーは、インド製でブリキの玩具の様に可愛い レトロなタクシーです。中も広く大人が乗っても余裕がある感じ イギリスのタクシーの雰囲気もあります。空港から 30 分 ニューデリーの町に到着 緑が多く杜の都仙台より緑地が多い印象で清潔で街並みも整備され気持ちよく滞在できます。



飛行機が夜 到着で夕食が終わったのが 10 時過ぎ カレーを頂きましたが、日本のカレーと違い 種類も豊富で日本のインドカレー屋では無いメニューも多々ありました。

特に印象的なのは、グジャラード州に行ったとき ヒンズー教の中でも戒律が厳しい宗派の人が多い地域だったので、アルコールは一切販売してない ホテルでもノンアルコールビールのみ しかもベジタリアンで野菜のカレーやサラダの種類が多く いかにも野菜を色々調理して飽きさせないか という位 野菜中心でした。(多少違う宗派の為 チキンやマトンありましたが 9 割野菜)。中華も独自の発展で日本の精進料理の様に野菜を肉魚に見立てて料理してあり、それはそれで美味しい ダイエットには最適かもと思いました。

その州で E S S A R という新興財閥を訪問 タンカーなど大型船を沢山所有しながら、電気炉 高炉 ガス田 港湾 発電などほとんどの事業をグループで経営しています。

鉄鋼部だけで敷地が 25 キロ四方と言う とんでもない大きさで学校 病院なども会社で併設していました。全従業員 75000 人 世界に支店を持っています。

福利厚生もしっかりしていて、先進企業だと思います。自社の機械も開発しており会社敷地には噴水 レストランなども完備していました。

現在は鉄スクラップを使うより鉄鉱石が取れる為 それを利用した方が安価に質の良い鉄が作れる為 スクラップは自社で発生した物のみ利用 よほど円安か情勢が変化しないと日本からの鉄スクラップ購入は現在では困難だと思う

他 廃プラ工場では、それとは対照的にマンパワーで基盤リサイクル工場も手作業でタイヤリサイクルでは日本と比べて、設備も技術もまだまだで特筆すべき事はあまり無い



今回の視察で、インドに対する見方は日本のマスコミを全部鵜呑みにしては行けないと言う事。

例えば、タタモーターのナノは 28 万で購入出来る新車と 世界のマスメディアが大きく報道したが、インドでは不人気で走っていない。

インド人はフレンドリーで人懐っこい 顔見れば髭はやして厳ついが、話すと優しい。

ヒンズー教では殺生を禁じて 貧しくても真面目にやれば来世が良いと言う信仰なので、置き引きやスリはあっても、金品奪うための殺人は少ないと聞いた（インドも 6 億人口いれば 色々あるし 1 つの国と言うより幾つかの国が合体した位大きいので）報道だけ見れば治安悪い国と全部括ってしまうがそうでは無い。

食物自給率は 100 パーセントで日本より上 貧乏でも何とか食べれる感じ？

時間の感覚はアジアと同じで鷹揚 悪く言えばルーズ 今回も環境省官僚を訪問したが、待たされる時間が長かった。官僚はあまり愛想も無く 上から目線で自分の管轄以外は興味なしと言う雰囲気だった。どこの国も似ているかも知れない

大手企業はしっかり時間も守るが その他はルーズである

間違いなく、これから発展する国で中国の次に世界経済をささせえる可能性を秘めている。

また、民主主義であり、政治も数年毎に、住民投票で与党 野党交代している。

インドは中国と違って民主主義だから強制で決定出来ないと官僚も強調していた様に感じた。

広大な土地 そして肥沃であり、見渡す限り平地。インフラ建設はしばらく必要になるので、これからまだまだ、経済発展遂げる国だと思います。

何事も、人の話 噂 マスコミ 新聞など鵜呑みにせず、多角的に物事を見て 実際に確認しなければ真実は見えない。

弊社社員は、自分で確認する癖を付けて欲しいのと、一方向から見たり考えたりでなく 多方面 多角的に見て確認して判断する事。

出来ないで無くどうしたら出来るか？から考えて欲しいと思いました。

注：自動車は『タタモーターズ』が一番多い、次いで日本車の『スズキ』が多い

バイクは圧倒的に『ホンダ』が多い

2013 年 06 月 26 日

(株)ナプロアース

池本 篤